

発行／坂城町公民館 発行人／柄澤 俊彦 編集／広報部 印刷所／(株)シーデンス
〒389-0602 長野県埴科郡坂城町中之条2468 文化センター内 (TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722)



◆主な内容◆

戦後80年特集vol.3 2～3P
第70回坂城町二十歳のつどい 4～5P
第53回坂城町文化祭 6P
500字リレートーク・分館だより 7P
お知らせ、館説 開畝 8P

第53回坂城町文化祭

老若男女が大活躍!!

(関連記事 6 P)

坂城でたどる戦争の記憶

～坂城から戦地へ②～

1945 → 2025
戦後 80 年
特 集
Vol.3

戦後 80 年特集第 3 弾は、前回に引き続き坂城町出身の方をご紹介します。今回は、坂城町（旧南条村）出身の滝沢光雄さんの戦争の記憶（記録）を辿ります。
（※戦後 80 年特集は今回で終わりとなり、次号より「ふるさと探訪」を再開します。）

神風特別攻撃隊

太平洋戦争の開戦から 2 年半、昭和 19 年 6 月のマリアナ沖海戦で旧日本海軍の連合艦隊が致命的な打撃を受け、サイパン島が陥落し、大本営はフィリピンを戦場と定めました。

劣勢に陥っていた航空兵力を補うため、すでに何度か行われていた自発的な体当たりではなく、航空機に爆弾を搭載し、艦船に搭乗員もろとも体当たりする組織的な航空特攻が始まりました。

この時期、航空特攻以外にも、魚雷を改造し爆弾を搭載した一人乗り人間魚雷



八重山諸島小浜島（沖縄県竹富町）に残っている震洋格納壕跡

納庫に飛び込みました。

「スワニー」は大破、戦死 71 名、負傷 82 名と記録されています。

家族の思い

光雄さん戦死後、翌月 11 月 13 日夜、ラジオ放送により戦果の報道があり、特攻隊員の一人一人の名前と出身地が発表され、その中に滝沢光雄さんの名前がありました。

久男さんは、後年、次のように記しています。

突然のことで、家族皆半信半疑でいた。朝、門を開けに出ると、新聞記者が取材に来て、そこで初めて実感が湧いてきた。

父は当時公職の立場から、「光雄は天晴れな働きをしてくれた。また良い死に場所を得た」と少しの動揺も見せなかった。

一方母は、「よくやってくれた」とは言っていたが、どこか淋しげな感じを隠せなかった。

私も立派な働きをしたんだなあと思ったが、反面兄

「回天」による水中特攻、爆弾を搭載したベニヤ板製の水上特攻艇「震洋」による水上特攻などの訓練が行なわれていました。

昭和 19 年 10 月、レイテ沖海戦において、海軍で最初の航空特攻隊となる、神風特別攻撃隊（敷島・大和・朝日・山桜隊）が編成されました。

指揮官（敷島隊隊長）の関行男大尉（海軍兵学校出身）を除き、隊員の全員が、昭和 17 年 4 月に土浦海軍航空隊に入隊した海軍飛行予科練習生（予科練）出身者で、20 歳にも満たない少年たちでした。

その中に、坂城町（旧南条村）出身の滝沢光雄さんが含まれていました。

生い立ち

滝沢光雄さんは、旧埴科郡南条村鼠宿出身、兄弟は男五人、女五人の四男として生まれ、父親が村長、生家は明治天皇巡幸「小休所」という家庭環境のもとで成長し、南条国民学校、上田中学校（現上田高校）修了後、

海軍飛行予科練習生として、土浦海軍航空隊に入隊しました。

光雄さんの弟・久男さんによると、幼い頃から我慢強く、思い込んだら最後まで成し遂げる強い信念と実行力を持っており、中学三年の頃から偉人伝を読み耽り、西郷隆盛、乃木希典、東郷平八郎の肖像画を壁に貼り、物思いに耽ることが多く、この頃から大空への憧れがあったのではないかとのこと。



滝沢光雄さん

死の覚悟

昭和 17 年 3 月、土浦海軍航空隊入隊のため、久男さんは北塩尻駅（現西上田駅）まで兄を見送りました。

別れ際に、一生懸命勉強し、家のこと、妹たちのことを頼む、特に両親への孝養を頼むと言われ、両親への手紙を託されました。その内容を紹介します。

私は兄のひたむきな魂を、今も美しく、立派だと思っている。」

おわりに

参考文献である、「山脈を超えて」は、町福祉課（現福祉健康課）の老人福祉生きがい事業として発刊されました。

延べ 200 名を超える町民の方の自分史が掲載されており、戦争体験以外にも、激動の昭和を生き抜いてきた先人たちの体験談が掲載されています。

「元気で征って参ります。二、三年来光雄は御両親及び兄上達に迄、ことごとく至らぬ事が多いため注意を受けましたが、伸び行くものはその前に必ず収縮するものです。鎖国という収縮の状態があつてこそ、維新の大業が出来た譯です。光雄も色々の不孝もありましたが、しかし、それは私の将来の悠々たる伸長に対する準備期であつたのだと考えておゆるし下さい。熱意、努力、服従、忍耐等全霊を傾けて精励致しますから決してご心配下さいますな。また光雄には確固たる自信があります。どうかご両親様には、深い信頼の目で光雄の将来を期待して下さい。最後にご両親様のご健康をお祈り致します。尚父上は老齢に加へて血圧が高いのですから呉々もご自愛下さい。」

入隊から約 2 年後の昭和 19 年 3 月、第一線出動の前に三日間の休暇を得て、南条村に帰郷しました。休暇が終わり、帰隊する

「山脈を超えて」は町福祉健康課で販売しているほか、町立図書館で貸出を行っています。

【参考文献】

「山脈を超えて」（第九回生）「特攻で散った兄を偲んで」（滝沢久男）「山脈を超えて」発行委員会（事務局 坂城町役場福祉課）

伊藤純郎「航空特攻隊空に散った信州人」信濃毎日新聞社

金子敏郎「神風特攻の記録」光人社

長野大学坂城町講座『平和について考える特別授業（地域の戦争跡地を巡る）』

8 月 6 日（水）、戦後 80 年平和学習事業として、長野大学坂城町講座「平和について考える特別授業」が開催され、町内外合わせて 5 名の小学生が参加しました。

午前は、上田市内に残されている旧飛行場など

の戦争遺跡を巡り、戦争が自分たちの身近な場所で見えていたことに子どもたちはとても驚いていました。

午後は、長野大学の学生による講義で、当時の出来事や、生活の様子について真剣に学んでいました。



上田市仁古田に残っている飛行機部品半地下工場跡（完成前に終戦）

二十歳おめでとうございます

8月15日(金)、文化センターにて『第70回坂城町二十歳のつどい』を開催しました。対象となる方は、平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの156名で、そのうち107名の方が式典に出席されました。式典では、戦没者への追悼と世界平和を祈る黙祷から始まり、続いて二十歳のつどい実行委員会代表の伊達亮哉さんがあいさつを行い、中学校時代の担任の先生からはお祝いの言葉や動画によるメッセージが贈られました。

二十歳を迎えられた皆さん、本当におめでとうございます。これからの人生が笑顔と希望に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

第70回 坂城町二十歳のつどい

実行委員会 代表あいさつ



伊達 亮哉さん

二十歳のつどい実行委員会を代表して、挨拶をさせていただきます。

本日は、私たちのためにこのような盛大な二十歳のつどいを挙行していただき、誠にありがとうございます。

また、ご多用の中、多くのご来賓の皆様にご臨席賜りましたこと、そして山村町長をはじめ皆様より、温かいお祝いと励ましのお言葉をいただきましたこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

20歳という人生の大きな節目を迎えることができ、たのは、楽しいときにはともに笑い合い、苦しいとき

には励まし合った友人、熱心にご指導くださった先生方、温かく見守り支えてくださった地域の皆様、そして、何よりも近くで深い愛情を注いで育ててくれた家族のおかげであることを、改めて実感しております。

私たちは、これまでの人生のほとんどを、ここ坂城町で過ごしてきました。これまでも振り返ると、本当に多くの思い出が心に浮かびます。

なかでも、中学生の頃に所属していたバレーボール部での経験は、私にとって大きな成長のきっかけとなりました。全国制覇という大きな目標を掲げ、毎日の厳しい練習に、仲間と励まし合い、支え合いながら取り組みました。時には意見がぶつかることもありましたが、そうした日々も含め、すべてがかけがえのない貴重な経験となりました。

その結果、県大会ではベ

令和7年度秋のスポーツ大会

10月4日(土)、鼠橋運動公園マレットゴルフ場にて、『令和7年度秋のスポーツ大会』を開催しました。

19分館から、34チーム、134名が参加されました。今年で2回目となる大会

で、昨年より多くの参加者を迎え、みなさん笑顔でプレーされ、爽やかな風の吹く秋の一日となりました。



スト4、そして北信越大会への出場という輝かしい成績を残すことができました。土日も私たちのために時間を割いてご指導くださった恩師や、遠方まで送迎をしてくださった保護者の皆様の支えがあってこそ、成果だったと、今では強く感じています。

た経験は、私の確かな土台となつていきます。これからは、その恩に少しでも報いることができるよう、自分にできることを一つひとつ積み重ね、いつかこの町に貢献できる存在となれるよう努力してまいります。

最後になりますが、これ



実行委員の皆さん ご協力ありがとうございました。

伊達 亮哉さん(代表)

宮原 伶太朗さん

星 彩水さん

宮原 捷太朗さん

元島 慶貴さん

山崎 美玖さん

浅野井 大翔さん

矢嵜 柊星さん

中島 樹来さん

小林 俐珠さん

【ちょうげんぼうコース】

優勝 月見分館A

準優勝 上五明分館B

3位 中之条分館B

【若あゆコース】

優勝 上五明分館A

準優勝 中之条分館A

3位 上五明分館C



10月25日(土)、南条小学校音楽堂にて、さかさふれあい大学教養講座『ばら祭り20回記念コンサート』を開催しました。

スクリーンに、さかき千曲川バラ公園の美しい写真が映る中、ピアノと箏の素敵な音色とアロマの香りが会場全体を包み込み、憩いのひと時となりました。

ばら祭り 20回記念 コンサート



第53回 坂城町文化祭開催

～したしむ・つくる・ふれあう・ささえる～



10月25日(土)、26日(日)の2日間、南条小学校と文化の館にて、第53回坂城町文化祭を開催しました。展示会場の体育館では、書道、盆栽、生け花、写真、絵画、短歌、俳句、川柳、詩、レカンフラワー、木彫など様々な分野の芸術作品が展示されました。また、音楽堂の通路では、町内保育園・幼稚園の園児の作品と町内小中学校の児童の作品展示を行い、多くの来場者にご覧いただきました。

音楽堂で行った芸能公演では、参加された20団体の皆さんに、素晴らしいステージを披露していただきました。文化の館で開催されたお茶席は、初日は表千家、2日目は裏千家により行われ、来場された方は、秋の癒しのひと時を過ごしていました。

図書館と格致学校では、『図書館まつり』を同時開催し、本と雑誌のリサイクル市や戦後80年特別展示「戦争とさかさ」を開催し、学芸員による解説も行いました。



坂城町華道協会



坂城写友会



坂城町学校図習展委員会 (小中学生)



お茶席



パドル体操



坂城コーラス



童謡・唱歌を楽しむ会



さかさハッピープラス

月見分館 分館だより 鼠宿分館

久しぶりのスマイルボウリング大会参加

6月28日(土)、令和7年度分館スポーツ大会(スマイルボウリング大会)に月見区分館は1チームではありますが、コロナ禍のため、なかなか参加人数が集まらなくて久しぶりの参加となりました。開会式で町長さん、町議会議長さんの挨拶などの後、軽運動ストレッチを講師の方の指導で参加者の皆さんが行った後、ブロックごとに分かれて、第1レーンにおいて1試合、時間の関係で第6レーンにおいて1試合のリーグ戦、計2試合が行なわれました。われらが月見区分館は小学生～年配の方のチーム構成で強敵のチームに対して健闘及ばず勝つことは残念ながらできませんでしたが、素晴らしいチームワークで勝敗にこだわながらも和気あいあいとしていました。参加してくれた月見区のみなさんが楽しそうにプレーをする姿を見れたのが、月見区分館役員としてもうれしく思えました。来年以降は参加者が増えて2～3チームできて、久しぶりの勝利、あわよくば優勝も狙ってもらいたいと期待しています。



鼠宿区夏祭り

お盆の8月14日(木)に会地早雄神社境内で夏祭りが開催されました。

昨年、コロナ禍より5年ぶりの再開も直前の豪雨により急遽、場所を公民館に移して行う事となりましたが、今年は天候にも恵まれ(猛暑でしたが)境内での開催となり、地域のみなさん、帰省された方々が夕涼みがてら多勢訪れ、飲み物(ビールなど)・フランクフルト・ポップコーン・綿あめなども提供され、終盤には小学校PTA主催の子供達が対象のビンゴ大会・スイカ割りなど子供からお年寄りまでそれぞれが楽しい夏のひと時を過ごしました。

準備等大変さはありますが、地域の皆さんの交流の場、帰省時の楽しみのひとつとして続いてほしいと思います。



500字リレートーク
子供たちの成長に 宮下 ゆかり

我が家には3人の子供がいます。既に自立して良き出会いにより今夏結婚をした長男。知的・精神障がいがあり、少しでも自分の出来ることを増やそうとしている次男。そして、兄たちとは一回り以上年の離れている長女です。

数年前にはなりません、が、或る日長男が仕事関係の方と電話で話をして、いる流暢な会話と言葉遣いを耳にしたとき、おつ、いつの間にかこんな対応ができるのね、と思ったことがありました。下の子たちに目を向けている間に、いつしか大人になつていったんだと実感させられた時でした。

そんな中、次男は中学、高校と養護学校へ行くようになり一時期は凄く荒れたこともありましたが、卒業し就労支援の事業所さんへの通所や、今ではグループホームでの生活をさせていただくようになり、地域の皆様方にご支援をいただきながら少しずつ理解や出来ることも増えてきています。関係各所の皆様には本当に感謝で一杯です。

そして長女においては現在、部活から地域移行になってきているクラブや町のスポ少での活動をしていきます。先輩の応援や他者の試合を観戦している真剣な姿があり、練習試合や大会での一勝の喜び・一敗の悔しさを経験しながら次への目標に向けて頑張っています。

三者三様。そんな子供たちに私は「推し活」しています。

次のリレートークは、鳥居歩さんをお願いします。



思い出の一枚

元「おかあさんといっしょ」
ダンスのおねえさん

お知らせ

いとうまゆ ファミリーダンスワークショップ

おかあさんといっしょやみんなが知っている人気の
曲で楽しく歌って踊ろう！

「からだ☆ダンダン」もやるよ♪

日時 令和8年2月1日(日)

11:00～12:00

会場 文化センター 体育館

入場料 無料 ※申込不要

定員 200名(組)

持ち物 上履き・運動のできる服装

※小学3年生以下は保護者同伴で
参加してください。

出演



いとうまゆさん

第59回坂城町席書大会・書初展

日時 令和8年1月5日(月)～7日(水)

5日(月)～席書大会～

受付 9:00～

書初め 9:30～11:00

書初展 15:00～16:00

6日(火)

書初展 9:00～16:00

7日(水)

書初展 9:00～15:00

会場 文化センター 体育館(受付・書初め)

文化センター 大会議室(書初展)

申込締切 12月15日(月)まで

申込先 上記のQRコードもしくは文化センターへ
お申し込みをお願いします。

※当日の申込も可能です。



【申込QR】



ながの電子申請

第55回坂城町元旦マラソン大会

日時 令和8年1月1日(木)

受付 9:00～

開会式 9:30～

競技開始 10:00～

会場 文化センター 大会議室

クラス 親子ペアの部(1.5km)

小学生の部(1.5km、3km、6km)

一般の部(中学・高校生含む)の部
(1.5km、3km、6km)

申込締切 12月15日(月)まで

申込先 下記のQRコードもしくは文化センターへ
お申し込みをお願いします。

【申込QR】

※当日の申込も可能です。

※荒天の場合は、中止となります。



ながの電子申請



今後の行事予定

- ◆ スキー・スノーボード教室 1月18日(日)
- ◆ スポーツ少年団交流大会 2月14日(土)
- ◆ こども茶の湯教室 3月 7日(土)
- ◆ 未来の科学者たち、科学のふしぎを体験しよう！
3月19日(木)

説 開 館 敵

かい
ぜ

8月23日坂城町文化センター体育館
で「第5回坂城・千曲新能」が3年ぶ
りに開催されました。

第一部は、坂城能楽教室の子どもた
ちと保護者による仕舞が披露されまし
た。子どもたちの凛とした仕舞が印象
的でした。続いて楽謡会会員による連
吟「高砂」、そして名誉師範である松尾
文子氏による米寿祝「菊慈童」の仕舞
が披露されました。その後、客席全員
で「鶴亀」を謡い、能楽の体験をしま
した。

第二部は厳かな火入れ式から始まり、
宮入小左衛門行平氏による奉納鍛錬が
行われました。刀を鍛える音が体育館
に響き渡り、幻想的な雰囲気醸し出
していきました。

野村裕基氏による狂言「茶壺」は、
繊細な動きや掛け合いの面白さがあり
客席から笑い声も聞かれ、会場全体で
楽しみました。続く能「船弁慶」では、
松木千俊氏が静御前と平知盛ノ霊を演
じる前後之替という特別演出でした。
前半と後半で舞台の雰囲気ガラリと
変わり、幽玄なひとときを味わいまし
た。

日本の伝統芸能である能楽の世界を
堪能した新能でした。新能実行委員会
により、各小学校では能楽教室も開催
されましたが、これも含め、坂城町の
文化として、これからも伝統芸能を楽
しみ学ぶ場が続いていくと嬉しいです。